

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成31年1月8日

協議会名: 茂原市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者: 小湊鐵道株式会社 運行系統: 南部(鶴枝)・南部(五郷)	南部(鶴枝): 茂原駅～三ヶ谷神社～茂原駅 南部(五郷): 茂原駅～石神集会所～茂原駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃収入以外の収入源の確保のため、市民バスの車体に有料広告の掲載を行った。</li> <li>・「茂原市地域公共交通計画」の運行内容を見直し、運行便数の増便、運行ルートの変更等を行った。</li> <li>・コンサルタント会社等の協力を得て、需要予測などを行い、「茂原市地域公共交通計画」における新たな目標を設定した。</li> <li>・利用しやすい環境を提供し、利用促進を図るため小学生運賃を新たに設定した。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度よりも北部(豊岡)コースは2,446人(6.4%増)、東部コースが6,974人(3.8%増)、南部(鶴枝)・南部(五郷)コースは11,884人(32.9%増)と全てのコースで利用者数が増加した。</li> <li>・全体では、3,346人の増、前年度比で18.6%の増となり、地域住民の移動手段として大きな役割を果たしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃収入以外の収入源の確保のため、引き続き市民バスの車体等に、有料広告を募集し掲載を行う。</li> <li>・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。</li> <li>・インターネットを通じた検索方法の多様化による利便性の向上を図る。</li> <li>・市民バス及びデマンド交通ともに回数乗車券を導入することで、更なる公共交通の利用促進に努める。</li> </ul>
事業者: 都自動車株式会社 運行系統: 北西エリア	茂原市北西エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象外であった本納地区及び豊岡地区について、エリア外登録の対象範囲として新たに設定することで、市民バス等との乗継利用を可能とした。</li> <li>・「茂原市地域公共交通計画」の運行内容を見直し、運行便数の増便や予約受付時間の延長、乗降場所の新設等を行った。</li> <li>・コンサルタント会社等の協力を得て、需要予測などを行い、「茂原市地域公共交通計画」における新たな目標を設定した。</li> <li>・利用しやすい環境を提供し、利用促進を図るため小学生運賃を新たに設定した。</li> </ul>	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用登録者数は、以前の目標(500人)を達成できたため、見直しにより新たに目標値を750人に設定した。前年度から66人増加している。</li> <li>・利用者数は、目標値の10人/日以上を達成できた。前年度と比較すると474人の増、前年度比では44.6%の増となっている。また、利用者のほとんどが60歳以上であることから、交通弱者の移動手段が確保され、外出機会の増加に大きく寄与している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用需要の高い高齢者を中心とした利用促進策を講じて、利用者の拡大に努める。</li> <li>・広報・自治会への回覧等を通じ、さらなる周知を図ると共に、必要に応じて地元説明会等を実施する。</li> <li>・市民バス及びデマンド交通ともに回数乗車券を導入することで、更なる公共交通の利用促進に努める。</li> </ul>